

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス大連		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	最新の脳科学理論に基づいた運動療育を提供している	体操教室やスポーツクラブではないので、運動に対して結果にコミットすることはせずプロセスを大事に支援を行っている。その中で小さな成功体験の積み重ねにより、嫌だった活動が好きになる等もあり視野の広がり、拘りの緩和もみられる。また、学習支援時に集中できないタイプの子も間に運動を挟むことにより学習再開後の集中力アップもみられる。	全ての職員がスキルアップを怠らず支援にあたっていく
2	一人ひとり個性に寄り添う支援を行っている	個別支援計画に基づいた支援の実施や、日々の活動の中で児童一人ひとりの特性に応じた関わりを意識している。また、保護者への連絡や日々の様子の共有を丁寧に行うことで、安心して利用できる環境づくりに努めている。	引き続き現在の支援の質を維持するとともに、職員間での情報共有や支援方法の統一を図るためのケース会議や内部研修を継続し、より質の高い支援の提供に努める。
3	保護者様のご希望に即座に対応し寄り添う姿勢	急遽の時間変更や利用希望、送迎場所の変更、営業時間前のお迎えや営業時間後のお送り等、レスパイトケアや保護者様の急な休日出勤へも対応できる体制を整えている。	今後もご要望にお応えできるよう体制を整えていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や父母の会活動等保護者同士の交流や、兄弟同士の交流ができていない。	昨年、利用児が模擬店の店員を行いご両親やご兄妹、友人等を招き行われたフェスティバルでは父母同士のコミュニケーションや兄弟の参加等一定の効果がみられた。しかしながら当時在籍していなかった利用児にとっては交流機会が取れていなかった。また、就労等により不参加のご両親もみられた。	実施頻度や周知方法、参加しやすさへの配慮しながらニーズを把握した上で交流の機会を計画的に設ける。
2	地域との交流が希薄	地域交流については、安全面への配慮や実施機会の不足により外部との関わりが限定的になっていることが要因と考えられる。	無理のない範囲で児童館や地域資源との連携を検討し、段階的に交流機会の創出を図る。
3			